

朝茶はその日の難のがれ

古河市

昔、とある旅人が古河の宿屋に宿泊しました。翌朝、旅人が宿を出ようとすると、宿の女中が「お客さん、お茶を飲んでいっただらうまい」とお茶を出しました。しかし、旅人は「おれはお茶は飲まねえ」と、慌ただしく出発してしまいました。旅人が日光街道の松原(現在の埼玉県草加市)にさしかかると、大蛇が現れました。「おめえ、何食って来た」と大蛇が聞くので旅人が「おらあ朝早く出てきたから、何も食わねえできた」と答えると、瞬間に大蛇は旅人をべろりとひと飲みにしてしまいました。



次の日、一人のおじいさんが早朝に宿を出ようとすると、女中がお茶を飲んでいくよう声を掛けました。「そうだなあ、せっかくなんで出してくれたんだから、ありがたく朝茶をいただくとしよう」と、茶を飲んでから宿を出ました。

しばらくして松原にさしかかると、また大蛇が出てきて聞くのです。

「じいさんや、おめえ何食ってきた」とすると、おじいさんはこう答えました。

「おら何も食わねえが、朝茶をいっばい飲んできた」と、そういって、大蛇は大層驚き、

「こんな年寄りが蛇を飲んできただと、大変だ、おれも飲まれちまう」と大慌てで逃げていったそうです。

「朝茶はその日の難のがれ」

人の好意を無下にせず、ありがたいことと受け取る心の余裕を持つことが、よい結果につながるのかもしれない。ほっと一息ついて、お茶の香りを楽しむような余裕を持った生活を心がけたいものですね。

〈参考文献〉古河市史他



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>